



■市民の行動指針（案）と基本目標との関係

市民の行動指針	基本目標 1	基本目標 2	基本目標 3	基本目標 4	基本目標 5	基本目標 6
①節電を徹底する（電源のこまめなスイッチオフ）	●					
②省エネ家電を導入する	●					
③住宅用の太陽光発電設備を導入する	●					
④家庭で使う電気を再エネ電気の契約に切り替える	●					
⑤次世代自動車と対応する充電スタンドをつける	●					
⑥近距離の移動には自転車や徒歩で移動する	●			●		
⑦公共交通を積極的に利用する	●			●		
⑧住宅の窓を二重窓にする						
⑨雨水タンクを設置する	●			●		
⑩緑のカーテンを設置する	●	●				
⑪家で庭木や草花を植える	●	●				
⑫地域の清掃活動に参加する				●		●
⑬地域でごみのポイ捨てや落書きのパトロールを行っている				●		●
⑭ごみの分別の徹底する	●				●	
⑮食品の食べきりを徹底する					●	
⑯食品廃棄物をたい肥化する					●	
⑰詰め替え製品を利用する	●				●	
⑱環境に良い行動について調べて、楽しみながら実践する	●	●	●	●	●	●

※上記表は、今後、参考資料に記載します。

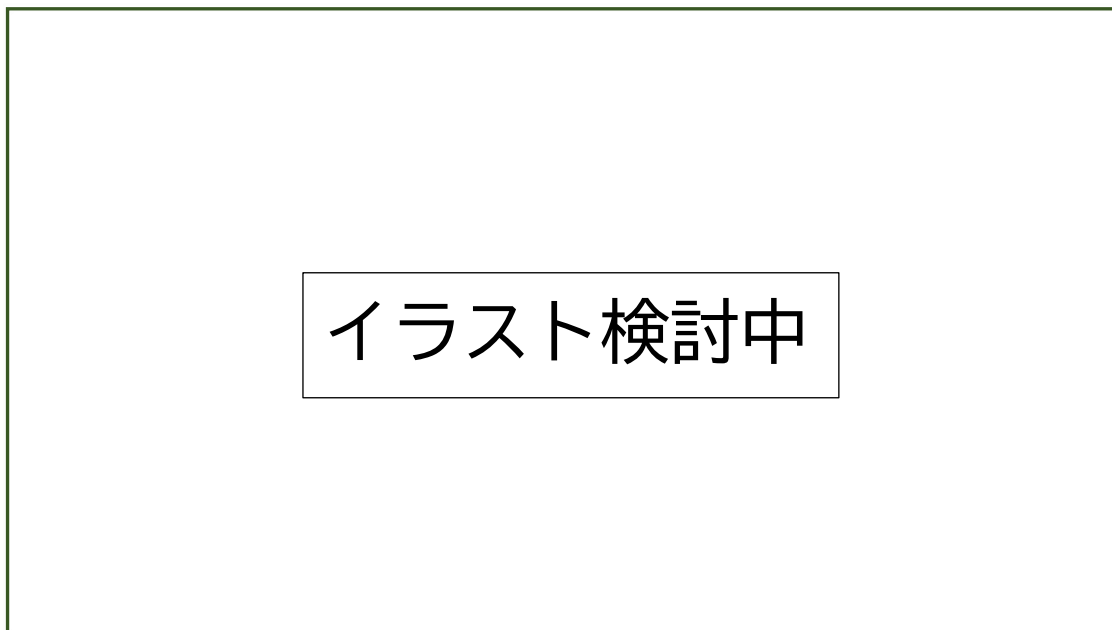
## （2）商業・業務地では

未来の鎌倉では、商業施設やオフィスでは太陽光発電設備や高効率設備の導入、再エネ電力への切替えが進み、事業活動に伴うCO2排出が大幅に削減されています。

EV充電設備や公共交通の活用も広がり、緑化や資源回収の取組により都市の中でも自然と循環が感じられます。

従業員の省エネ・分別の徹底、環境保全活動や環境情報の発信により、持続可能で美しい商業・業務地が形成されています。

■商業・業務地での取組（※イラストや取組は今後記載していきます。）



イラスト検討中

■事業者の行動指針（案）と基本目標との関係

事業者の行動指針	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本目標5	基本目標6
①従業員の省エネ行動の啓発を行う	●					●
②空調や給湯器、OA 機器を高効率な機器に切り替える	●					
③建物の省エネ診断を受診している	●					
④建物などに太陽光発電設備を設置する	●					
⑤店舗や事業所で使う電気を再エネ電気の契約に切り替える	●					
⑥店舗や事業所の駐車場に EV 用の充電設備を設置する	●					
⑦従業員に通勤時の公共交通の利用を推奨する	●			●		●
⑧業務目的の移動では EV シェアリングサービスを利用する	●			●		
⑨屋上・壁面緑化を実施する	●	●				
⑩自然保全活動による間伐材を使った商品を販売する	●	●			●	●
⑪地域の清掃活動に参加する				●		●
⑫従業員にごみ分別の徹底を啓発する					●	●
⑬コピー用紙の使用を抑える					●	
⑭アップサイクル商品を販売する					●	
⑯市民向けの資源回収ボックスを設置する					●	●
⑰店舗や事業所の環境に関するデータを把握して発信する	●				●	●
⑱店舗や宿泊施設で客に環境啓発情報を発信する	●	●	●	●	●	●

※上記表は、今後、参考資料に記載します。

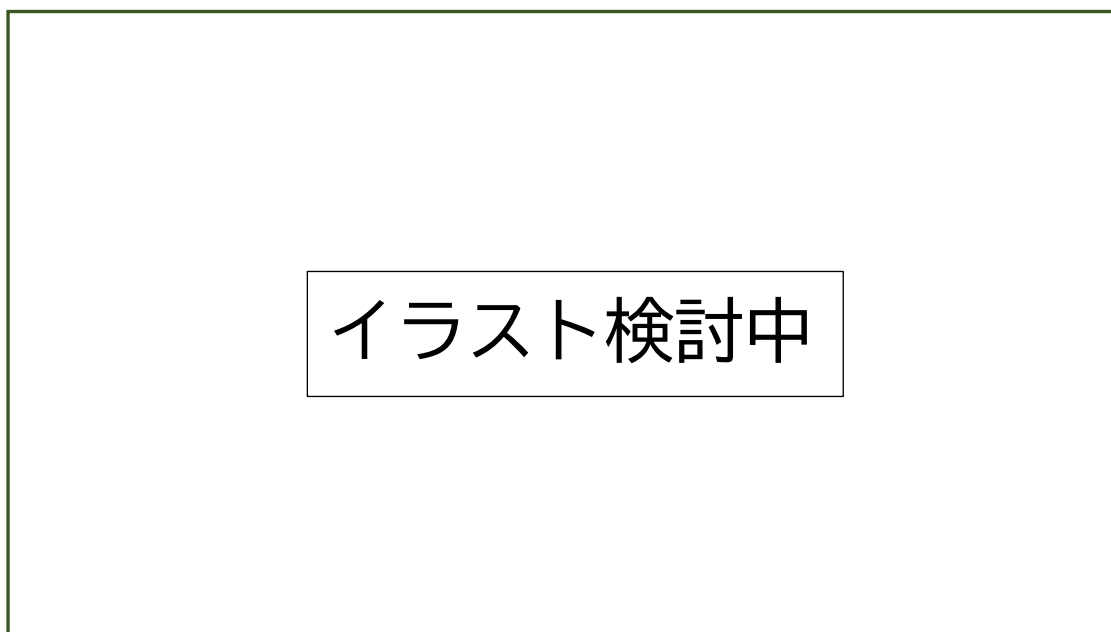
### (3) 観光地では

未来の鎌倉では、観光地では、環境に配慮した店舗やサービスの利用が定着し、滞在者が率先して環境配慮型の商品やサービスを購入しています。

シェアサイクルやマイクロモビリティによる静かな移動や、荷物預かりの活用により、快適で落ち着いたまちなみと観光によるにぎわいが調和しています。

滞在者が、観光地から発信する環境やマナーに関する情報を事前に確認して行動することで、自然と調和した持続可能な観光が実現されています。

■観光地での取組（※イラストや取組は今後記載していきます。）



■滞在者の行動指針（案）と基本目標との関係

滞在者の行動指針	基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本目標5	基本目標6
①宿泊施設では省エネ行動（適正温度・節水）に協力する	●					●
②環境性能の高い木造の宿泊施設や店舗を利用する	●	●				●
③シェアサイクルやマイクロモビリティで静かに観光する	●		●	●		
④駅や観光案内所に荷物を預けて、観光地に来訪する	●			●		●
⑤エコツーリズムに参加する		●	●			●
⑥商店街や観光地のごみ拾いイベントに参加する				●	●	●
⑦観光でのごみは持ち帰るようにする				●	●	●
⑧食べきりに協力し、食品ロス削減に取り組む店舗を利用する				●	●	●
⑨マイボトルを持ち歩き、給水スポットで水分補給する	●			●	●	
⑩混雑・マナー・安全情報を来訪前に確認して行動する	●	●	●	●	●	●

※上記表は、今後、参考資料に記載します。

## 2. 重点プロジェクト

第4章で示した「鎌倉市の未来のビジョン」の実現に向けた重点的な取り組みとして、以下の2つのプロジェクトを推進します。これらプロジェクトによって、市民・事業者・滞在者など多様な主体が連携しながら、環境保全に向けた行動を推進していきます。

### (1)「環境プラットフォームづくり」プロジェクト

#### ①ねらい

環境保全に関心のある人々が出会い交流することで、市民等が主体的に学び、そして行動できる機会を増やすとともに、日常の暮らしや事業活動等が自然と環境保全に繋がるような取組の在り方を、皆で考え、実践していくことを目指します。

#### ②取組の方向性

##### 環境保全行動のきっかけとなる「知り、語る」場の創出

専門家を招いての話題提供やワークショップ形式の勉強会、意見交換会等を開催し、参加した市民等が「明日からできるアクション」についてアイデアを皆で考え、それぞれの想いを共有することで、始められる・続けていける取組の推進を目指します。

##### 想いと活動を繋げる「共創の輪」づくり

「知り、語る」場では、何か活動を始めてみたい人、すでに活動を継続している人、活動の仲間を求めている人、支援が必要な人、支援したい人など、様々な人や事業者等が参加し、想いを語り合えるようにすることで、必要な人や企業がつながり合い、環境保全活動が活発に進化する「共創の輪」を広げていきます。

### (2)「みんなを巻き込む・かまくら脱炭素アクション」プロジェクト

#### ①ねらい

市民や事業者、市民団体等の「つながり」や「想い」をエンジンに、鎌倉らしい脱炭素・循環型ライフスタイルの取組を、皆で考え、試し、実践していきます。

#### ②取組の方向性

##### かまぐらの暮らしや事業に紐づく取組の共有

家庭でのコンポスト活用、古着のリメイク、太陽光発電の設置、古民家の断熱改修や店舗における古材の再利用など、個人の暮らしや地域の事業者の活動が、脱炭素だけでなく地域の価値向上につながることを目指したイベントや見学会等を行います。

##### 「(仮称) かまぐらアクション・ラボ」

市民等と行政が、共に考え、行動しネット・ゼロ（カーボンニュートラル）を実現するためのアイデアを形にするため、実験的・試行的な取組をやる「(仮称) かまぐらアクション・ラボ」を開催し、実践に向けた取組を推進します。

※この重点プロジェクトは鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画（地域脱炭素化促進事業編）の優先して推進する事業としても位置付けます。

※令和6年度に鎌倉市で開催された脱炭素かまぐら市民会議（気候市民会議）で発足した市民団体「脱炭素かまぐら」等の各種団体や市内事業者とも連携しながら進めていきます。